

山岳部 街中の低山の魅力を感じた藻岩山で本年度を締めくくりました (11月7日(日))

振り返ると今年は、コロナ禍の規制で5月中旬から7月上旬の山行が中止となってしまいました。新入部員がどんどん体力を付けてレベルアップの山にチャレンジしていく機会が奪われ、その後の山行計画にも大いに影響がありました。しかしだからこそ、先送りされた来年度に楽しみがてんこ盛りの今日この頃です。さて、すっかり寒くなりました。高度が上がると益々寒くなります。11月を過ぎての山歩きは低山が魅力です。そこで今回は低くても街の景観や賑わいが楽しい藻岩山で、本年度の岩東山岳部の活動締めくくりとなりました。スキー場コースから入山し旭山公園まで行って往復したいところでしたが、旭山公園は熊の出没で10月から閉鎖中ということでその手前の小林峠への分岐迄の往復としました。さすがに大都会の真ただ中の山だけに、山頂から見る街の風景は壮観でした。山頂から小林峠分岐まで登山道に並ぶ御地藏様には、これまでどれだけ多くの人々がどれだけ多くの願い事をしてきたのかという思いを抱かされます。分岐をターンして、再度訪れた山頂で昼食休憩。人工物の休憩スペースが有難い。下りはスキーゲレンデを降りてショートカット。苗穂蔵の湯でスッキリして、明るいうちに岩見沢へ帰還となりました。



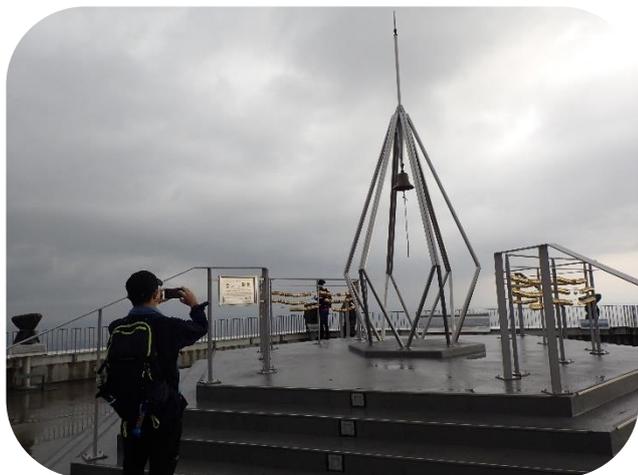
登山口



休憩



ケブ 肋-横



恋人たちの鐘



山頂から見える札幌の街



山頂写真



下りはスキーゲレンデをショートカット